

問 教育委員からどのような意見があったか。

答 庶務を行う部署名について、教育委員の意見を踏まえ、魅力ある学校をつくるという思いから「魅力ある学校づくり推進室」とした。

問 審議会委員になるための条件は。

答 公募による市民は5名を予定し、18歳以上の市内在住で昼間の会議に参加できるかたを対象にしレポートによる選考を行う。その他に学校の校長4名、学校の保護者4名、学識経験者2名を予定している。

問 高校生の意見も大事であり、会議時間を昼間に限定することはないのでは。

答 高校生も含め、さまざまな方法で意見を募集したい。会議時間については、現時点では昼間としているが、委員との調整により柔軟に対応する。

問 児童生徒の意見聴取をどう考えているか。

答 計画策定の中で意見聴取を行う。

問 大山小学校閉校の中で学んだことを踏まえてほしい。

答 同小学校の閉校は、児童数減少による緊急対応であった。計画策定は丁寧に進めていく。

条 例 改 正

議案
第 11 号 ▶ 可決

地域包括支援センターの 職員配置を柔軟化

指定介護予防支援等についての省令改正に伴い、地域包括支援センターにおける職員配置の柔軟化の規定を加えるものです。

問 現状は改正内容に当てはまる状況なのか。

答 現状は法令の人員基準を満たしているため、今回の改正内容に当てはまらない。

議案
第 12 号 ▶ 可決

家庭的保育事業等の設備・ 運営に関する基準を改正

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、搬入施設で調理した食事を提供する場合は要件の一つである献立等への指導体制に「管理栄養士」を追加しました。

問 対象となる施設は、市内に何施設あるか。

答 6施設である。

議案
第 13 号 ▶ 可決

放課後児童支援員の 資格要件を緩和

放課後児童支援員の資格要件について、2年以内に認定資格研修の修了を予定している者まで含む緩和措置を定めました。

問 放課後児童支援員の資格講習の内容は、どのようなものか。

答 資格講習の受講に当たっては、保育士、教員資格等子どもに関する専門的な資格を有している者が前提となる。これに加え、放課後児童クラブの運営に必要となる子どもの支援に関する事項について16科目24時間の講習を受けることとなる。

請 負 変 更 契 約

議案
第 31 号 ▶ 可決

菁莪学校橋 架替工事期間を延長

問 工期が再度66日間延長され、履行期限が7年5月30日になる理由は。また、地域住民に対する経緯の説明は、どのように行うのか。

答 残りの工種等から改めて工程を組み直し、延長する期間を決定している。地域住民への周知は、行政区に回覧をお願いするとともに、隣接するかたがたには直接訪問し説明を行う。

問 発注者であり施工管理も行う市は、今回のような難工事になった時、受注者に対してどのような施工管理方式等をとるか。

答 毎週末に提出される工程表で進捗状況を把握しながら工程管理を実施してきた。遅れを確認した場合は、遅れをばん回する方策を検討するため、現場で確認等を行い、協議を重ねながら施工等の管理に努めている。



工事中の菁莪学校橋